

# 学生取材 環境守る企業活動

名駅・中日SDGsフェアで発表



国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）に理解を深める「中日SDGsフェア」（中日新聞社主催）が二十日、名古屋・名駅のウイंकあいちで開かれた。SDGsに取り組みメーカーや銀行を取材した大学生が、リサイクルや森林の保全、男女がともに働きやすい環境づくりなどの大切さについて発表した。

愛知淑徳と名古屋市立、

SDGsに取り組む企業に取材した内容を発表する愛知淑徳大の学生たち。名古屋・名駅のウイंकあいちで

東海学園、愛知学院の四大学の学生が発表。飲料メーカーの工場などを二回取材したという愛知淑徳大の五人は、環境に悪い印象があったペットボトルの回収率とリサイクル率が高く、さらにその率の向上に取り組んでいることを学んだと説明。三年の近藤円樺さん（三）は「使う側の責任として、リサイクルボックスにラベルをはがして捨てた」と話した。

会場では企業などがブースを設け、藤田医科大は女性医師の働き方支援などの取り組みを紹介した。

子ども向けに県産間伐材を使ったコースター作りなどもあった。

（福本英司）

2022年8月21日（日）中日新聞 朝刊より  
この記事は中日新聞社の承諾を得て転載しています。